



みどりのふくし

第101号

令和7年7月発行

みどりのふくし点訳版・音訳版もあります。ご希望の方は緑区社協までお問い合わせください。



つながる！



たべる！



居場所！

目次

- ・特集 子ども食堂 2
- ・重層的支援体制整備事業に取り組んでいます！ 3

- ・にじーなの掲示板 4

社会福祉法人 名古屋市緑区社会福祉協議会

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町1-7-1(緑区在宅サービスセンター内) ☎ 891-7638 / FAX 891-7640

ホームページ <https://nmidori-shakyo.jp>
ブ ロ グ <https://midori-syakyo.hatenablog.com/>
E メ ー ル m-fukushi@nmidori-shakyo.jp





特 集 子 ども 食 堂



子ども食堂って何？

最近CMや電車内の広告などで耳にする機会も増えてきたのではないのでしょうか。子ども食堂とは、地域のボランティアが子どもたちに対し、無料または安価で栄養のある食事や団らんの場を提供することを目的とした食堂です。子どもの食育や居場所づくりだけに留まらず、地域住民の方との交流のきっかけの場としても機能するよう、地域づくりの一つとしても活動されています。現在、緑区では17か所の子ども食堂が登録されており、その活動はどんどん広がっています。

※「子ども食堂の活動に関する連携・協力の推進及び子ども食堂の運営上留意すべき事項の周知について（厚生労働省通知）」から一部抜粋。

緑区の子ども・福祉食堂の
一覧は右のQRコードから
ご覧ください！

今回取材した「さばんなかふえ」
の情報もこちらにあります！
（令和7年6月時点）



緑区で3つの子ども食堂が連携しながら運営している

「ふれあいステーションもりのさと」へ取材に行ってきました！

市営森の里荘の敷地内にある「ふれあいステーションもりのさと」では、3つの団体がそれぞれに子ども食堂を開設し、子どもたちは月6回ごはんを食べることが出来ます。どの食堂も毎回100名ほどの参加者があり、地域のみなさんの手を借りながら運営しています。3つの団体と地域が定期的に会議を行い、見守りが必要な子どもや家庭の情報を共有しています。こうして、子ども食堂という共通の切り口から地域課題を見つけ、孤立などから子どもを救うセーフティネットの役割も担っています。

今回はその中で、「子どもとつくる子ども食堂～さばんなかふえ～」に取材させていただきました

ました。さばんなかふえは2016年より地域の方と協働で始まった事業で、本日の献立はハヤシライスでした！ 献立から調理まですべてボランティアが担当されています。当日は朝からボランティアが厨房係として準備に入り、料理を作っていました。



した。細かく刻まれた野菜に、子どもたちに栄養を摂ってほしいというボランティアの想いが詰まっていました。お米のご寄付をいただいたりと、地域の方々に支えられているところも印象的でした。

さまざまなスタイルの子ども食堂がある中、食事のみに留まらず、遊びの場も併設しているところがこちらの子ども食堂の特徴です。子ども食堂の会場の隣にある広場では、

「さばんなプレーパーク」が開催されていました。スラックラインやスケートボードなど様々な遊び道具が用意され、年齢問わず多くの方が訪れていました。年上の子が年下の子に卓球の遊び方を教えるなど、遊びを通して交流する姿もみられました。こちらは2012年から始まった事業で、誰でも気軽に立ち寄れる地域に開けた居場所の一つです。



また「さばんなかふえ」の開催日に合わせて、緑図書館からリサイクルブックのトラックも広場に来所。人と本とを繋げ、本に触れるきっかけをつくるために企画されたそうです。当日も多くの方が訪れており、楽しそうに本を選んでいました。

遊んで、食べて、また遊んで...その中でごはんをいつ食べるか、何をして遊ぶかなどたくさん選択肢がある自由さが喜ばれているようでした。

取材協力：こどもNPO



地域住民の声

スタッフさんが面白くて良い人なのでまた来たいと思える場所です！
(遊びに来た中学生)



子どもを見てくれる人が周りにたくさんいるので安心です。食べものやおもちゃが充実していて、子ども同士で元気に遊べるいい場所だと思います。
(参加している子どもの親)



子ども食堂運営スタッフの声

食後や、遊んだ後のホッとした瞬間だからこそ聞ける言葉があるように思います。そういった気持ちを受け止め、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに繋がるようにしています。



子どもたちが地域を頼っていいと思える経験を提供しています。遊びや食事を通して関係性を築いていき、子どもの選択や意見が尊重される場と感じてもらえるよう見守っています。



代表者さんから声を掛けられたのがきっかけで、活動をはじめて3年目になりました。あそびを通じて子どもたちと関わるのは楽しいです！
(ボランティア学生)





重層的支援体制整備事業



に取り組んでいます！



重層的支援体制整備事業って何？

個人や世帯が抱える複雑化・多様化したニーズに対応するためにできた事業です。これまで福祉政策が整備してきた、子ども・高齢者・障がいのある方・生活に困窮している方など、対象者ごとの支援体制だけでは、さまざまなニーズへの対応が困難になってきていることが背景にあります。困りごとを抱える方やその家族に対して、多様な分野の相談窓口と連携しながら、よりよい生活ができるように一緒に考えていく取り組みを、包括的相談支援チームが行っています。



こんな時にご相談ください！

地域にお住まいの方で心配な方がいたり、相談を受けてもどう対応していいか困ったりすることはありませんか？

「近所の方から、介護とひきこもりの子どもの将来が不安だ
って相談されたんだけど、どうしたらいいか分からない」

「最近、近所のあの人の顔を見かけなくなったな...」

「近所に学校に行かずに介護の手伝いをしている子がいて心配だな」

「やってみたいことがあるけど、一人では何から始めていいか分からない」



などなど、少しでも気になることがありましたら、ぜひ包括的相談支援チームにご連絡ください！



第三の居場所「にじ〜なルーム」

「参加支援」の取り組みの一つとして、市営住宅 桶狭間荘の一室にある、誰でも自由に過ごせる第三の居場所「にじ〜なルーム」の運営も行っています。

主に、家から出る第一歩目、静かにゆっくり過ごせる場所、安心できる場所としてご利用していただいております。



開所日は、

月・水曜日（祝日除く）10:00～16:00

金曜日（祝日除く）13:00～15:00

ご利用は無料で、予約制となっております。

3つの役割

①多機関協働事業



地域の方からご相談いただいた内容をもとに、必要な相談支援機関につないだり、相談支援機関と協働した支援を行います。

②アウトリーチ等を通じた継続的支援

地域で暮らす困りごとを抱えた方や世帯に対し、その方のご自宅に訪問して生活状況を伺ったり、困りごとについて相談に乗ったりします。困りごとを早期発見し、支援につながっていない方や世帯と支援機関との接点づくりなどを行います。



③参加支援

本人の希望をふまえ、人とのつながりや社会に参加する一歩を踏み出すサポートをします。

例えば、

- ・サロンや施設などでのボランティア活動へつなげる
- ・職場体験、就労につなげる
- ・第三の居場所へつなげる



など、オーダーメイドの参加支援を行います。



詳しくは、緑区社会福祉協議会（包括的相談支援チーム）まで TEL 052-891-7638

にじ～なの掲示板

令和7年7月



令和7年度 法人全体予算

収入	① 会費収入・賛助会費収入・・・6,862千円	支出	① 地域福祉推進事業・・・22,272千円
	② 寄付金収入・・・2,100千円		② 区の地域福祉活動への助成・・・23,257千円
	③ 共同募金配分金収入・・・8,581千円		③ 共同募金配分金事業・・・8,581千円
	④ 補助金・受託金・・・150,686千円		④ 在宅サービスセンター・事務局運営費・・・60,700千円
	⑤ その他参加費等収入・・・5,967千円		⑤ 人件費・・・83,374千円
	⑥ 前年度繰越金・・・52,395千円		⑥ 次年度繰越金・・・28,407千円
事業活動収入合計 226,591千円		事業活動支出合計 226,591千円	

フードドライブにご協力ください

ご家庭であまった食品を緑区社会福祉協議会で受付し、集まった食品は生活困窮者・こども食堂等へお届けさせていただきます。

対象となるものは、賞味期限（または消費期限）が2か月以上先のお米・缶詰・乾麺・カップ麺です。
 ※開封済みの食品はお受けできません。ご了承ください。
 ※お米は賞味期限の記載がなくても構いませんが、白米の場合は精米時期から6か月以内、玄米の場合は収穫時期から2年以内のものでお願いいたします。

期間：8月4日(月)から8月15日(金)まで

受付場所：緑区社会福祉協議会
 （緑区在宅サービスセンター内）

受付時間：9時から17時（土日除く）

フードドライブ ご報告

令和7年3月3日～3月14日
 実施のフードドライブでは、約60点いただきました！



たくさんのご協力ありがとうございました！

ご寄付ありがとうございました！

寄付金総額 151,242円

寄付物品 米・缶詰・ぞうきん・タオルなど
 （令和6年12月20日～令和7年5月15日受付分）
 お寄せいただいた寄付金、寄付物品は、区内の福祉事業の推進に役立たせていただきます。
 ありがとうございました！

酒井 紀恵 様
 熊谷 雅代 様
 緑鯉城会 様
 ビーエム工業株式会社 様
 健サポみどり 様

その他、匿名9件（受付順）

職員紹介



緑区社会福祉協議会
 こいずみ しの
 主事 小泉 詩乃

緑区北部いきいき支援センター
 わたなべ はるひ
 主事 渡部 陽妃

ご案内

緑区社会福祉協議会のご案内は
 右の二次元コードから
 読み取りできます！



みどりのふくしの音訳版は
 左の二次元コードから
 聴くことができます！